

【大会結果】

学校名／（表彰）	題目	概要
◆長崎県立 五島高等学校／ 優秀賞（知財活用賞）	島から世界を巻き込め！ 海ごみゼロプロジェクト！	漂着ゴミについて地域を巻き込んだ清掃活動の実施に留まらず、「マイナス（ゴミ）に対してプラスで（楽しく）」という発想の元、ドローンレース大会や不燃漂着ゴミでアート作品を作り、島の玄関口である空港に展示するなど、課題解決のアイデアを次々に社会実装した。
◆大阪府立 農芸高等学校／ 優秀賞（知財活用賞）	農芸レトルトシリーズの 知財戦略を通した本当の「学び」	同校は「農芸ポーク®」を商標登録しこれを活かしたレトルト食品を企業との協働で複数生み出した。その過程で深まった「商標出願・商標使用に必要な戦略性」について体験を踏まえた実践的な報告を行った。
◆山口県立 宇部工業高等学校／ 優秀賞（知財創造賞）	知的財産の知識と新しい発明 ～パテントコンテスト 出展に向けて～	パテントコンテストに向けて発明品を生み出すとともに、その実践で得た知見（課題発見、アイデア発想、特許検索等）を整理しマニュアル化し後輩に残した。またこの生徒は今年度末で卒業し来年度から工業高校の実習助手（教員）に採用され知財創造教育を教える立場となる。
◆萩市立 福栄小中学校／ 特別賞 （知的創造サイクル賞）	6次産業体験学習プロジェクト 6（シックス） ～もち米プロジェクト～	小学生が育てたもち米を元に中学生がその加工品のレシピ開発とブランディングを行い、それらを地元食品加工場にライセンスし商品化した事例。地元団体により「奥萩ブランド」としての認定も受けた。
◆岐阜県立 大垣養老高等学校／ 特別賞 （知的創造サイクル賞）	ひょうたん絆プロジェクト もの作りからコトづくりへ ～食品にするための品種改良・ ブランディング・交流から平和へ～	瓢箪は食中毒成分を含む。これを同校生徒は、品種改良によって無くし食用瓢箪を開発。その上で瓢箪文化の再興を旗印に市場開拓のため瓢箪の工芸品や残渣での紙漉きでノベルティ和紙を開発するなど多角的な実践を行った。
◆山口県立 田布施農工高等学校／ 優秀賞（知財創造賞）	機械制御科アシストスーツ研究	地域農家の高齢化を課題に、農作業用アシストスーツを複数開発した。一般的にアシストスーツは高価で導入に躊躇されるが、同校ではアシスト箇所を絞り単純な仕組みで安価な提供を目指している。本発明はパテントコンテストにも入賞した。
◆長崎県立 長崎東高等学校／ 優秀賞（知財保護賞）	長崎の音楽を使って長崎の 子どもたちの郷土愛を育むには	長崎くんちでの伝統音楽をリコーダー等の身近な楽器向けに採譜し、小中学校授業教材として提案した。著作権が切れ著作物として意識されていない伝統芸能を、二次的著作物として学習教材曲にアレンジし新しい命を吹き込んだ。